

# 「国際派やまとなでしこ」 という生き方

加藤 秀子 著 四六判ソフトカバー218頁

本体 1,600円+税 ISBN978-4-8295-0740-7



加藤 秀子 (かとう ひでこ)

1927年東京都生まれ。香蘭女学校、聖心女子大学卒業後、米国ジョージア州立大学でビジネス・アドミニストレーションを専攻。帰国後、銀座東急ホテル、東京ヒルトンホテルの開設に携わる。さらに中国無錫大飯店の開設と従業員教育にも関わる。その後、国際教育振興会に移り日米会話学院SBS(日米2か国語)学科長を務めた。この間、日本秘書協会の設立にファウンダーの一人として関わり、バイリンガル秘書(CBS)資格検定制度を創設した。このほか、清泉女子大学講師、東急セミナー「BE」など講師も務める。著書に『国際秘書入門』(ジャパントائمズ)、『野花の席』(りん書房)がある。

いくつになっても輝き続ける女性になるには  
どうすればいいのか

8月新刊

戦後すぐに米国留学、帰国後は外資系企業で活躍し

「国際秘書」のさきがけとなった著者が、  
自らの人生経験から“悔いのない生き方”のヒントを提示。  
ときにやさしく、ときに辛口のエッセイ

■普通の女性が輝けるように  
女性が働くことの意味は？  
ワーク・パートナーという女性の役割の魅力とは？ ……

■どこがおかしい今の社会  
日本語の乱れが気になる  
幼い子どもに英語を習わせる必要があるのか  
息苦しさを感ずる社会になっていないか？ ……

■オフィスの風景  
やる気は自分で起こせる  
能力のある人ほど仕事は多いもの  
機械に向かってひとりごと、これって進歩？  
マニュアル人間は退屈だ ……

■自分を磨く  
ゆっくり、ぼんやりのすすめ  
どことなくファジーな雰囲気は味がある  
借りものの「らしさ」は不自然  
手書きの手紙が心のゆとりに  
漢字を使わないと、考える習慣が遠のく  
暖かいひとことは努力の処方箋 ……

■ひと味ちがう女性とは  
できる女性に男のコピーは似合わない  
なにかが違うキャリアウーマン ……

■野に咲く花のように  
美しいことばづかいとゆたかな心  
忘れてしまったきれいな作法  
燃焼してこそ味わえる至福 ……

「外国を知れば知るほど、日本という国の素晴らしさを実感します。…世の中の変化のスピードがどんなに速くても、世界に誇れる日本人の「心」は変わらないはず。…昭和と平成をまるまる生きた人間として、これから生きる日本人にこれだけは言い残しておきたいと思うことを一冊にまとめてみました」(あとがきより)

本書は全国の書店、ネット書店でもお求めになれますが、この「特別注文書」でお申込の場合に限り【割引価格・送料無料】です。

ご注文は FAX 03-3813-4615 でお願います。代金は現品に同封の振込用紙でお支払い下さい。

特別注文書 「国際派やまとなでしこ」 という生き方  定価 1,728円(税込) 特別定価 1,500円(税込)	注文数	お名前
	冊	ご住所(送り先) 〒  (TEL )

芙蓉書房出版

〒113-0033  
東京都文京区本郷3-3-13  
http://www.fuyoshobo.co.jp  
TEL. 03-3813-4466  
FAX. 03-3813-4615